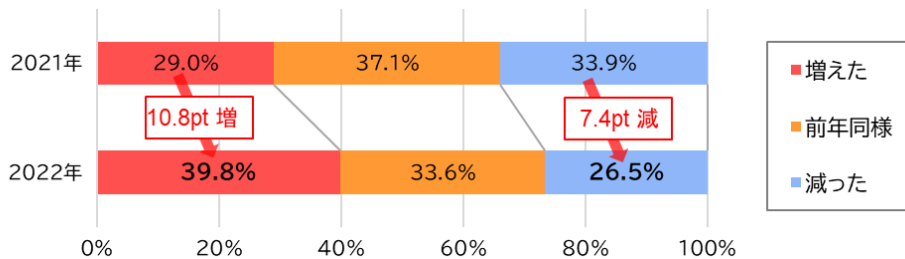


(結果報告) 2022 年度入社 新入社員採用・教育に関する Web 調査

調査のねらい	コロナの影響を受けた中での採用活動・新入社員教育も3年目に入り、九州の企業における実施状況において新しい傾向や変化がみられるのか調査した。
調査対象	九州生産性本部 会員企業のうち454社
調査期間	2022年5月10日～5月13日(3日間)
調査方法	各企業の代表メールアドレスへアンケートを依頼、Web上から回答(1組織、1回答)
回答数	134組織(回答率29.5%) ※前年調査時、回答率25.8%
調査項目	Q1 2022年度4月に新入社員を採用しましたか？ Q2 前年度と比較して採用人数は？ pickup! Q3 どういうポイントで採用しましたか？(複数選択可) Q4 入社して1か月経ちますが、今年の新入社員の印象を教えてください(自由筆記) pickup! Q5 2022年度 新入社員研修は実施しましたか？ Q6 新入社員研修の実施期間は？ pickup! Q7 新入社員研修の実施方法について、対面とオンラインの比率は？ pickup! Q8 オンライン研修を実施して感じた課題は？ Q9 新入社員育成で今後特に力を入れていきたいこと(1つだけ選択) pickup!

85.1%の企業が採用を実施し、そのうち約4割が前年よりも採用人数が増加
また、「人柄」重視で採用した新入社員を、じっくり時間をかけて、対面重視で教育する傾向がうかがえる

(1) 前年度と比較して採用人数は？(採用したと回答した企業への質問)

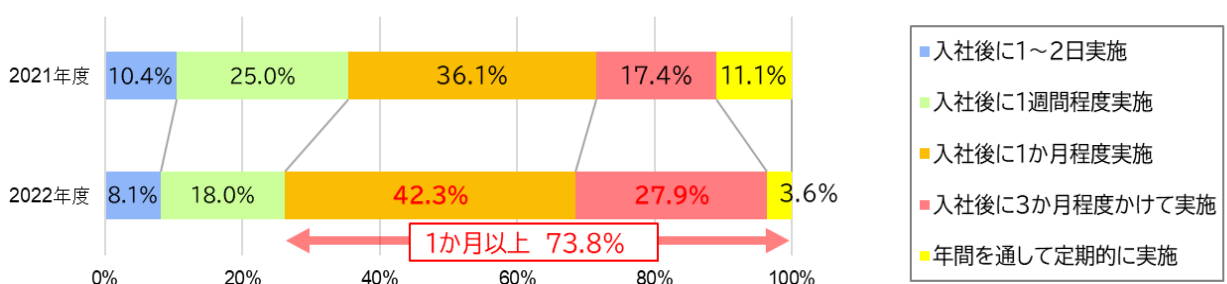


(2) 入社して1か月経ちますが、今年の新入社員の印象を教えてください(自由筆記)

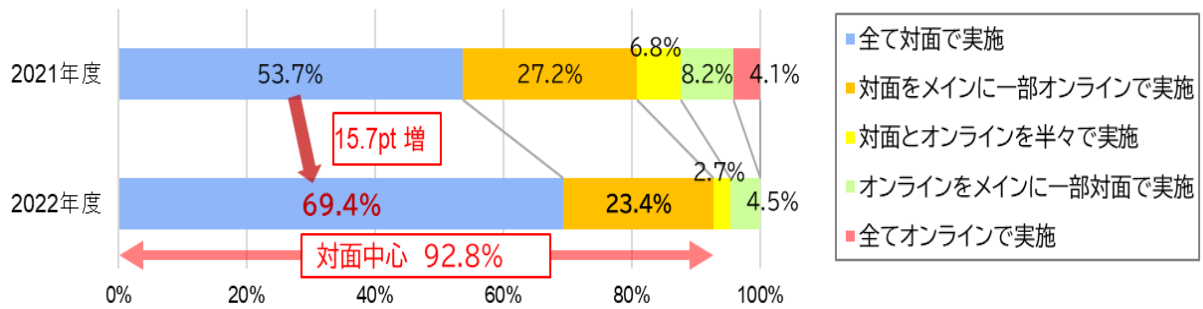
コメントの中で多かったキーワードは、**1位「真面目」、2位「素直」、3位「積極的(前向き)である」となった。**その他、今年度の新入社員の印象の回答の中で、コロナ禍でオンライン中心に学んできた学生だからこそと思われるコメントをいくつか紹介する。(コメント回答のまま記載)

- ・採用から入社式に至るまで一部オンラインで行われたことや学生時代の講義もオンラインであったことも影響しているのか、人とのふれあいを大事にしている印象を受ける。
- ・基本、真面目で素直。一方、SNS 発信世代のためか、コミュニケーションに問題はないが、語彙が乏しく、漢字が書けない。
- ・何事にも真面目に取り組んでおり、非常に評価できる。聞いたことに対して素直に答えてくれる印象がある。気になる点としては、新しい環境への緊張が強く、新入職の研修期間中に同期同士で雑談できるようになるまで以前の新入職者と比べて時間がかかっていた。

(3) 新入社員研修の実施期間は？(採用した企業で新入社員研修を行った企業への質問)

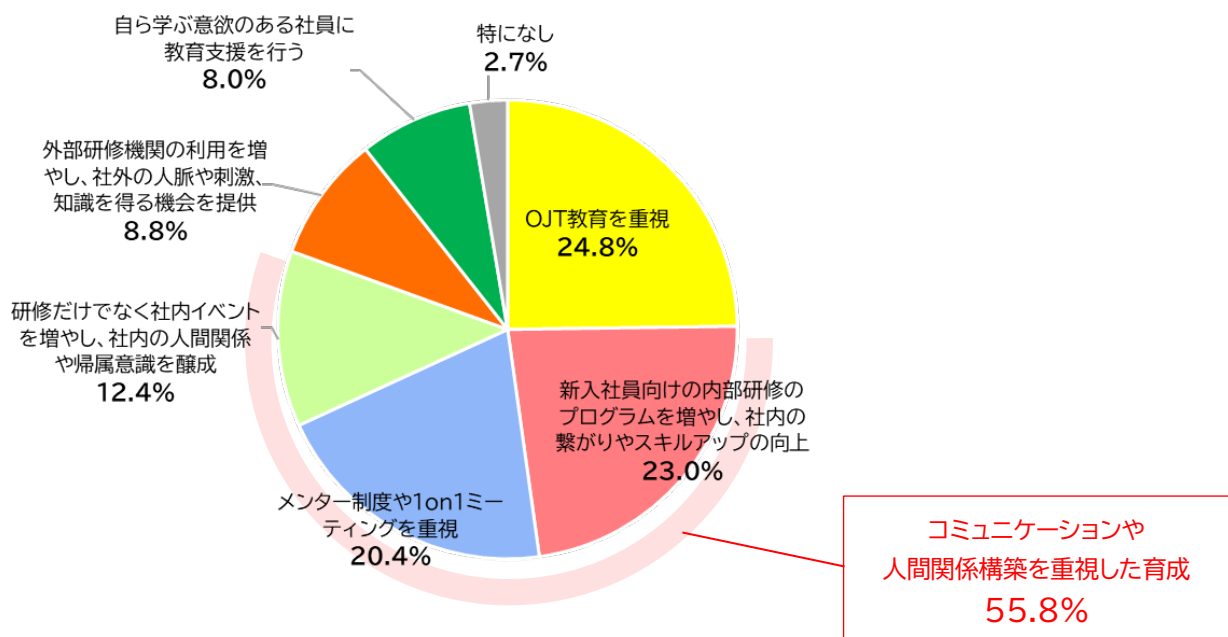


(4) 新入社員研修の実施方法について、対面とオンラインの比率は？（採用した企業で新入社員研修を行った企業への質問）



※9割を超える企業が対面中心の研修に戻している

(5) 新入社員育成で今後特に力を入れていきたいこと（1つだけ選択）



前年に続きコロナ禍でも高い割合で定期的な採用をしているが、採用人数で見るとより積極的な採用活動を行ったことがうかがえる。また、コロナ禍や働き方改革で課題となってきた「社内コミュニケーション不足」への対応として、新入社員教育においては、研修の期間長期化、メンター制度、1on1ミーティングを重視した育成という結果に繋がっていると思われる。

※その他の設問を含む、全調査結果に関しては、当本部HPにて掲載いたします。

九州生産性本部 「報告・機関紙」ページ

<本件に関するお問い合わせ先>

(公財)九州生産性本部 総務広報グループ 三小田・中尾 TEL:092-771-6481